

第64回
感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ
全国植樹祭
とっとり 2013

実施計画(案)



鳥 取 県

第1章 開催概要	
1 開催方針	1
2 開催理念	2
3 県民運動について	3
美鳥の大使による美しい国づくり運動の概念	4
4 大会テーマ	5
5 シンボルマーク	5
6 大会ポスター原画	5
7 開催時期	6
8 主催	6
9 開催規模	6
10 開催地概要	6
第2章 式典行事計画	
1 基本方針	8
2 式典演出計画	9
3 式典進行プログラム	9
4 式典演出イメージ	10
5 式典進行計画	13
6 式典演出準備スケジュール	17
第3章 植樹行事計画	
1 基本方針	18
2 お手植え計画	18
3 お手播き計画	21
4 代表者記念植樹計画	24
5 森林づくりの方向性と参加者記念植樹計画	25
6 植樹会場整備計画	28
第4章 会場整備計画	
1 基本方針	30
2 施設配置計画	30
3 主要施設計画	34
4 サイン計画	38
5 飾花計画	40
6 電気・給排水・通信設備計画	43
第5章 運営計画	
1 基本方針	45
2 招待計画	45
3 参加者行動計画	47
4 受付計画	49
5 特別接伴・接遇計画	51
6 作品御覧・レセプション計画	52
7 会場内動線計画	53
8 会場おもてなし計画	54
9 昼食計画	56
10 医療・衛生計画	57

最終で調整

11	消防・防災・警備計画	58
12	実施本部計画(実施本部体制案)	61
13	研修リハーサル計画	64
14	雨天時・強風時対応計画	74
第6章 宿泊・輸送等計画		
1	基本方針	75
2	宿泊計画	76
3	輸送計画	77
4	視察計画	81
第7章 荒天時式典計画		
1	基本方針	82
2	会場	82
3	参加者一覧	82
4	荒天時運営計画	83
第8章 県民運動計画		
1	基本方針	88
2	運動の進め方	88
3	運動の内容	88
第9章 記念事業等計画		
1	基本方針	89
2	記念事業等の内容	89
3	関連事業等の内容	91
第10章 広報・協賛計画		
1	広報計画	92
2	協賛計画	93

1 開催方針

(1)はじめに

全国植樹祭(第20回大会までは「植樹行事並びに国土緑化大会」、第21回大会からは現行の「全国植樹祭」が正式名となっている。)は、公益社団法人国土緑化推進機構と開催都道府県の共催により、昭和25年以降、持ち回りで開催されており、これまでこの大会では、天皇皇后両陛下にご臨席を賜り、県内外から多くの参加者にお集まりいただき、式典行事や記念植樹などが行われています。

鳥取県では、昭和40年5月9日、天皇皇后両陛下をお迎えし、第16回全国植樹祭を大山町で開催しました。この大会では、両陛下が、大山町上楨原においてダイセンマツをお手植えになるとともに、大山町博労座においては、ダイセンマツ、オキノヤマスギのお手播きをいただきました。また、参加者1万余人により上楨原でダイセンマツ32,000本(8ha)の記念植樹が行われました。

(2)開催意義

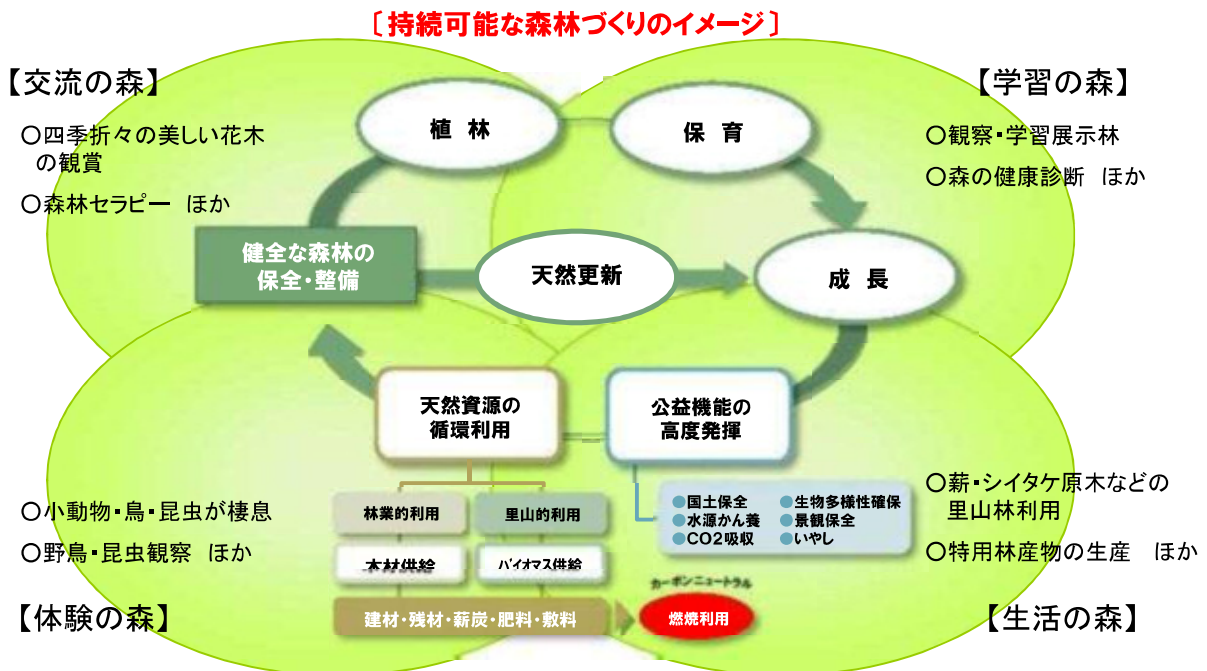
県土の73%を森林が占める鳥取県は、古くから森林に恵まれ、妻木晩田遺跡や青谷上寺地遺跡等の古代・木の文化が発祥しました。

鳥取県で開催された第16回全国植樹祭は、「林種転換による拡大造林」をテーマに開催され、各地で植林が行われ豊富な森林資源の造成と林業・木材産業の活性化が図られ木の文化を継承する契機となりました。

しかし近年では、長引く木材価格の低迷、山村の過疎・高齢化の進行等により林業離れが加速し、全国的に手入れの行き届かない人工林が増加しています。また、前回大会でのお手植え樹種であったアカマツは、その後のマツクイムシ被害の急速な拡大により、県内マツ林の機能低下を招きました。

その他、里山の放置によるシカ等の獣害、放置竹林の繁茂、カシノナガクイムシによるナラ枯れなど、新たな被害も拡大し、森林としての機能が急速に失われつつあります。

平成25年の全国植樹祭は、森林の機能を復活させるために、木材資源の循環利用を図りながら、県民全体で推し進める森林づくりのモデル林を整備し、「持続可能な森林づくり」を始める契機として開催します。



2 開催理念

京都議定書の発効以降、森林のCO2吸収機能への国民的関心は高まっており、県内各地では「とっとり共生の森」や「森林環境保全税」、カーボンオフセットを活用した森林整備を始めとする、企業や県民による森林保全活動の輪が広がっています。

また、平成23年に開催されたCOP17(気候変動枠組条約第17回締約国会議)において、平成25年から森林吸収量の算定手法に、新たに自国産の伐採木材製品に含まれる炭素量が認められることとなり、森林の果たすべき役割が益々重要となってきます。

このような中、平成25年に開催する全国植樹祭では、環境先進県「とっとり」の活動を県内外に発信し、今後更に森と親しみながら共生していく社会の実現を目指します。

■平成22年:国際生物多様性年

COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)を名古屋市で開催。生物多様性に関する世界目標(2011~2020年)が採択され、生物多様性損失に対する国民の危惧が今まで以上に高まる。

■平成23年:国際森林年

持続可能な森林経営等について認識を高めるよう、国際的な取り組みを実施。

【世界情勢】

■平成25年:京都議定書第二約束期間のスタート

「国際森林年」の平成23年に南アフリカで開催されたCOP17で、約束期間が切れる京都議定書を平成29年末までの5年間、または平成32年末までの8年間延長する第二約束期間を実施。

平成32年(2020年)に大排出国である中国や米国を含めた新たな枠組みの発効を目指す。

【日本の動き】

■平成25年:新たな環境戦略のスタート

京都議定書の延長には参加しないものの、引き続き温室効果ガスの排出削減努力を続ける。

COP17では、森林吸収量の算出手法において間伐や植林のほかに新たに自国産の伐採木材製品に含まれる炭素量が認められることとなり、森林吸収源対策として間伐などの森林整備を更に推し進める。

環境先進県「とっとり」をアピール

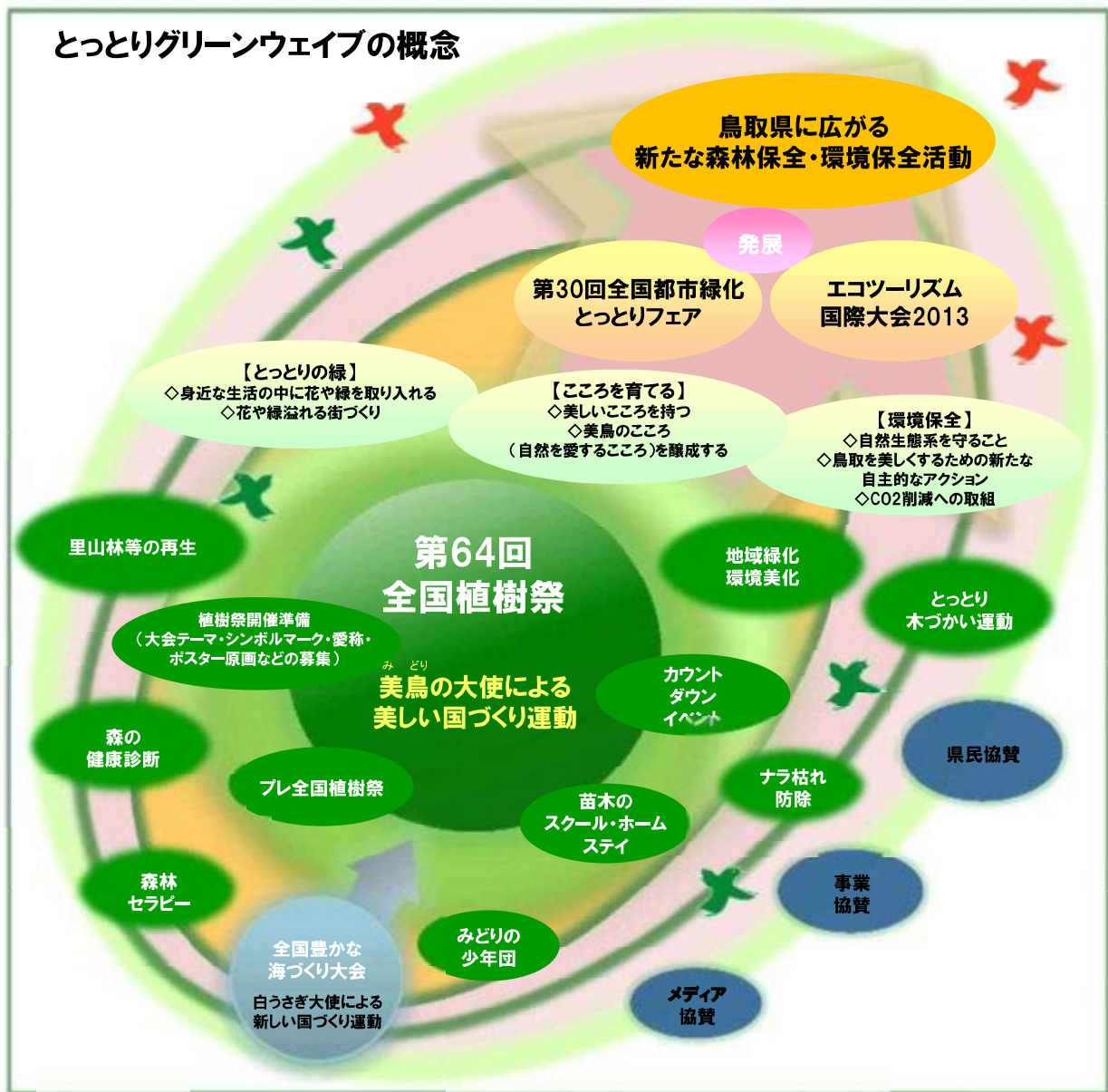
□平成25年:第64回全国植樹祭鳥取県開催

持続可能な森林づくりによる地球環境の保全や、里山林等森と親しみながら共生してゆくライフスタイル、就業スタイル等の

「心癒される森林づくり」を推進します。

3 県民運動について

- 第64回全国植樹祭の開催を契機に、県民、企業、ボランティア等の多くの皆さんが環境保全活動に取り組み、自ら行動する県民運動「とっとりグリーンウェイブ」の気運を醸成し、緑豊かな鳥取県から環境の良さを全国にアピールする県民運動として発展させ、県民運動の中心となる人々を「**美鳥の大使**」と位置付けます。
- 美鳥の大使による県民運動は、第64回全国植樹祭と同じ平成25年に鳥取県で開催される「第30回全国都市緑化とっとりフェア」「エコツーリズム国際大会2013in鳥取」へと発展・承継させ、環境日本一の鳥取県を目指します。



＜美鳥の大使が目指すもの＞
 地域で取り組む植樹や育林、木づかい運動、環境美化、水産業振興、緑や自然を生活に取り入れたり親しんだりする活動などに取り組む人々が相互につながり合い、県全体にその輪が広がる運動とする。

みどり
〔美鳥の大使による美しい国づくり運動の概念〕

新たな国造り運動に参加する白うさぎ大使から「引き継ぐDNA」



Dynamic 力強い
Nature 自然界
Advance 前進



継承

全国植樹祭「とっとりグリーンウェイブ(県民運動)」に参加いただく
すべての県民が「広めるDNA」



みどり
美鳥の大使による美しい国づくり運動

波及・拡大



Daily 日常の
Near 身近な
Action 行動



継続

全国植樹祭終了後も継続した取り組み(ポスト植樹祭)を行う
すべての県民が「進化させるDNA」

進化

- ◆植樹会場の手入れ(花回廊・鏡ヶ成高原)
- ◆地域植樹会場での体験型イベント等

Discover 発見
Newborn 新生
Activity 活動

- ◆第30回全国都市緑化とっとりフェア
- ◆エコツーリズム国際大会2013

第64回全国植樹祭開催後も「美鳥の大使」のDNAを広め進化させる
県民総参加による美しい国づくり(森林づくり)を推進

4 大会テーマ

「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」

(作者:宇田川 葉(うだがわ しおり)さん (鳥取県立米子南高等学校2年生))

〔講評〕

森のめぐみや緑を守り育ててくれた先人への感謝の気持ちと、緑の豊かさを次代に継承していこうという強いメッセージがこめられています。

5 シンボルマーク

〔シンボルマーク〕

※全国公募により選定しました。

○制作意図

鳥取県の鳥と樹木を合わせたデザインで、全体の輪郭は大山の形もイメージさせ、首から提げた双眼鏡には森の観察を呼びかけるメッセージが込められています。また、胸のハートマークで大会テーマ「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を表現しています。

○作者

伊藤 うちゅぶ(いとう うちゅぶ)さん ※ペンネーム
(千葉県八千代市)

〔シンボルマーク愛称〕

※鳥取県内在住の方を対象に募集し、選定しました。

○制作意図

「鳥取」と「木」を組み合わせ、インパクトのある親しみやすい愛称にしました。

○作者

武海 博華(たけうみ ひろか)さん
(鳥取県西伯郡南部町)

〔マーク〕



〔愛称〕

「トッキーノ」

6 大会ポスター原画

※鳥取県内の小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に募集し、選定しました。

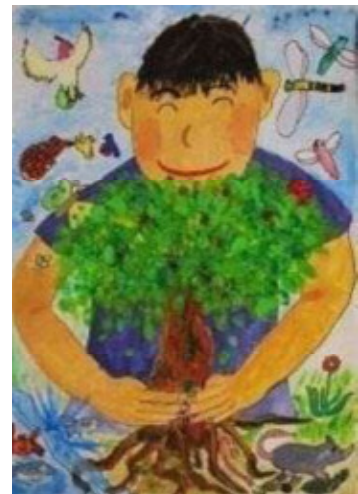
○制作意図

緑や生き物に囲まれて、笑顔で生活できる喜びを表現しました。

○作者

中家 秀斗(なかいえ しゅうと)さん
(鳥取市立西郷小学校 5年)

〔画題〕 自然がいっぱい



7 開催時期

平成25年5月26日(日曜日)

8 主催

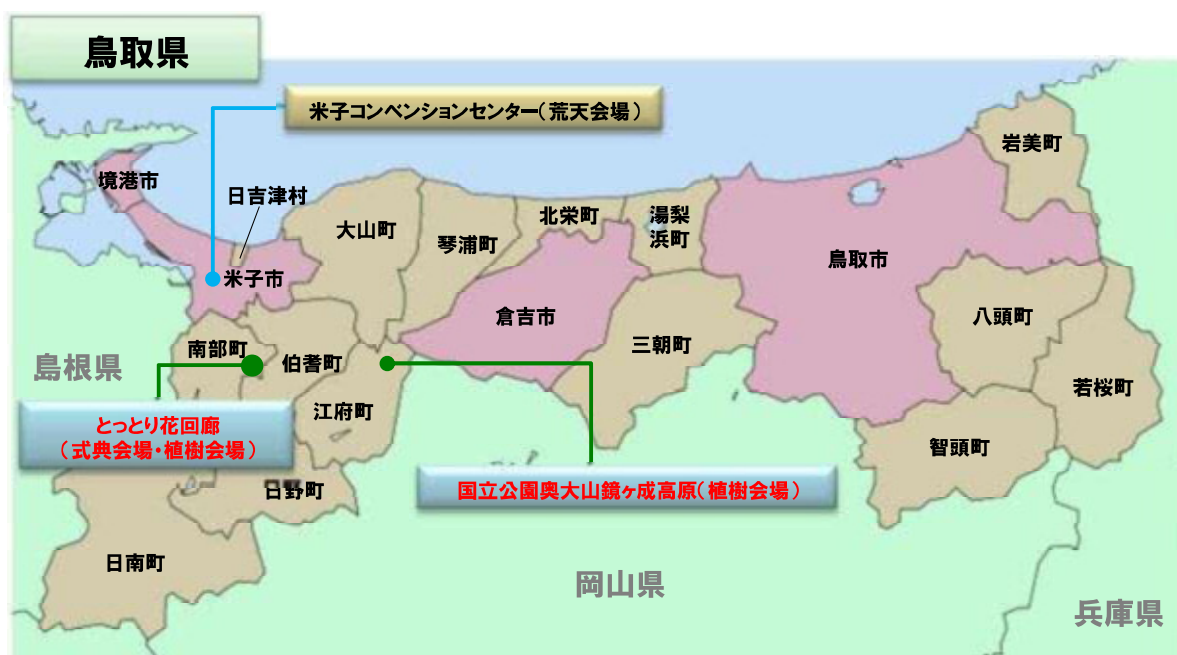
公益社団法人国土緑化推進機構、鳥取県

9 開催規模

お手植え行事及び式典行事の参加者数は、5,000人程度の県内外招待者と、2,000人程度の県内協力者及びスタッフ等としますが、荒天の場合は、1,000人程度の招待者とします。

区分	参加予定者数	備考
県外の招待者	1,500人	国関係者、被表彰者、他県参加者等
県内の招待者	3,500人	県議会、市町村関係者、緑化関係団体、公募参加者、県実行委員会等
本部員・協力員	2,000人	実施本部員、出演者、運営ボランティア等
総計	7,000人	

10 開催地概要



(1) 式典会場・植樹会場

式典会場:とっとり花回廊(南部町鶴田 5,000人が参加)

植樹会場:とっとり花回廊いやしの森(伯耆町小野 式典参加者のうち4,500人が参加)

県立の施設として1999年4月に開園した、大山を間近に望む日本最大級(約50ヘクタール)のフラワーパーク。多彩な植え替え花壇、大温室「フラワードーム」や展示館、周囲1kmの屋根付き展望回廊など、天候に左右されず一年中花が楽しめます。自然の起伏や森林を活かした広大な自然環境の中、季節の移り変わりを存分に味わうことができます。開園時からオランダの世界的な花の名園「キューケンホフ公園」と交流しており、2010年に姉妹公園の覚書を締結しました。



フラワードーム



花の谷(キューケンホフコーナー)

(2) 植樹会場

国立公園 奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森(江府町鏡ヶ成 500人が参加)

烏ヶ山の南麓に広がる大平原で、清流の流れる溪谷とブナをはじめとする森に囲まれた標高900m前後の景観優美な高原です。高原の上方は、国民休暇村やキャンプ場が整備され、冬はスキー、夏は避暑地として人気があり、下方は広大な農地に開拓されているほか、豊かな水を活かしてミネラルウォーターが生産されています。



休暇村 奥大山



溪谷で水に親しむ子どもたち

1 基本方針

- 大会テーマ「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を、参加者や全国の人々に分かりやすく伝え、魅力あるふるさと「とっとり」を支える豊かな自然や森林の役割を発信します。
- 「森は海の恋人」と云われるように、きれいな海を守るためには豊かな森が必要であるという、森・川・海のつながりを表現します。
- 豊かな自然に囲まれた大山の雰囲気を活かして、鳥取の自然の魅力や歴史、文化、産業を全国にアピールし、「また鳥取に行きたい」と感じてもらう構成とします。
- 環境に配慮された手作りの式典とします。
 - ◇「とっとり共生の森」参加企業をはじめとする環境先進企業、NPOなど、多様なボランティアによる協力をいただきます。
 - ◇式典を通じて排出されたCO²を、鳥取県内で認証取得したJ-VERで相殺します。
※J-VERとは：環境省オフセット・クレジット（J-VER）制度により認証された、CO²の削減・吸収クレジットのこと。
- 多様なボランティア、子ども達、高齢者、障がい者など多くの県民や、大会に賛同いただいた企業等が参加できるよう配慮し、県内みどりの少年団等の協力を得ながら、鳥取らしく来場者を温かくおもてなし、歓待します。
- 司会者、式典進行介添え役、式典音楽隊、アトラクション等の出演者及び演出家等については、地元をはじめ、県内関係団体等の積極的な協力と参加を得て編成します。

◎演出展開イメージ



2 式典演出計画

○式典の構成は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成とします。

区分	演出テーマ	演出の意図
プロローグ	第一楽章 はじまり	○参加者を歓迎する気持ちを表現する内容とし、鳥取の豊かな自然や文化、森林・林業・木材産業の紹介や県民が参加する創作劇等のアトラクションを実施します。
記念式典	第二楽章 はぐくみ	○天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き、国土緑化功労者等の各種表彰、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を行います。 ○大会宣言等は開催理念を、わかりやすく表現します。
エピローグ	第三楽章 はばたき	○参加者を送迎しつつ、未来へのメッセージを伝え、全員でその意味を確認し、全国に発信します。

3 式典進行プログラム

時間	区分	プログラム	進行内容
10:10	プロローグ	プロローグ案内	鳥取県の豊かな自然と、その自然に培われた歴史・文化・産業等を表現
		歓迎演出	
10:50		記念式典のご案内	
11:00	記念式典	天皇皇后両陛下 御到着	
		開会のことば	
		三旗掲揚・国歌斉唱	
		主催者挨拶	
		表彰	森林や自然を育み守ってきた緑化功労者への感謝として表彰
		苗木の贈呈	
		天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き	
		参加者代表記念植樹	
		大会テーマの表現	環境先進県とっとりが目指す森林づくり、「美しい国づくり運動」を発信し、大会テーマ「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を創造的に表現
		大会宣言	
11:50		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
		閉会のことば	
		天皇皇后両陛下 御退席	
12:00	エピローグ	エピローグ案内	未来へのメッセージを発信し、来場者参加型演出により会場全体を盛り上げ
12:20		エピローグ演出	

4 式典演出イメージ



プロローグ 「はじまり」

「森・川・海」のつながりをパフォーマンスで表現し、木や森と共生することの大切さを、子どもと木の精との語らいで綴る創作劇で表現します。

「はじまり」のメッセージ

- 酸素をイメージした風船をもった子ども達と葉っぱをイメージしたハンカチをもった子ども達のパフォーマンスで、酸素・水の供給源としての森林を表現します。
- 青い布を使って川や海を表現し森・川・海をつながり、「森は海の恋人」のメッセージを発信します。
- 大山の自然の映像とともに、木のオブジェが登場、「命の営みを見守り続ける森林・自然を表現します。



現在、演出振り付け検討中。
決定後、苗木の搬入を含め、
イメージスケッチを作成し差し替え



創作劇「大山森話」

脚本・演出「鳥の劇場」中島諒人芸術監督

- 子どもと木の精との語らいを中心に人間と木との共生を表現します。
 - 主人公の子どもは県民から公募
 - セリフの「木に聞きたいこと」も県民から募集



現在、演出振り付け検討中。
決定後、代表シーンの
イメージスケッチを作成し差し替え

イメージスケッチ

イメージスケッチ



記念式典 「はぐくみ」

第64回全国植樹祭で設定する「4つの森」を背景に、森を大切に育んでいくという強い想いを、美鳥の大使がメッセージします

天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、国土緑化功労者等の各種表彰、大会宣言等を行います。



天皇陛下のお手植え



皇后陛下のお手播き

大会テーマ表現：「はぐくみのメッセージ」

- 林業従事者の「森への想い」や林業を取り巻く現状を表現します。
- 「交流の森」「学習の森」「体験の森」「生活の森」のパフォーマンス&メッセージを表現します。
- 森と人間の共生を呼びかけ、大会テーマを表現します。



イメージスケッチ

現在、演出振り付けについて、
洋舞連盟と調整中。
決定後、代表シーンの
イメージスケッチを作成し差替え

イメージスケッチ





エピローグ 「はばたき」

全出演者と招待者、会場全体の一体感を創出し、未来に向けてのメッセージとともに大空にむけてグランドフィナーレを飾ります。

エピローグ：「はばたき」のメッセージ

- 出演者と招待者が全員参加できる音楽と演出で、会場全体の一体感を創出し、未来に向けてグランドフィナーレを飾ります。

現在、演出振り付けについて、
検討中。決定後、
イメージスケッチを作成し差し替え



5 式典進行計画



(1) 進行スケジュール詳細

時間	プログラム	登壇者・出演者	映像	音楽
7:30 ～ 10:00	参加者入場開始			BGM、CD
	おもてなし広場オープン		インフォメーション 文字等	
	プロローグ案内、インフォメーション		インフォメーション 文字等	
◆プロローグ 「はじまり」				
10:10 ～ 10:50	「とっとり」の映像「鳥取の自然・歴史、文化、産業など」県の紹介映像			CD
	「はじまり」のメッセージ			
	創作劇「大山森話」			CD(録音)
	大会概要紹介			
	感謝状贈呈 ○大会テーマ ○大会シンボルマーク ○シンボルマーク愛称 ○大会ポスター原画	贈呈：鳥取県知事 受贈：各被表彰者		吹奏楽、合唱
	東日本大震災復興支援	贈呈：鳥取県知事 受贈：		
	記念切手贈呈	贈呈：郵便事業株式会社 受贈：鳥取県知事		吹奏楽、合唱
記念式典のご案内～(待機)	司会者			
◆記念式典 「はぐくみ」				
11:00 ～	天皇皇后両陛下 御到着	御先導：鳥取県知事 お出迎え：大会会長、 国土緑化推進機構理事長		ファンファーレ(吹奏楽：金管) 吹奏楽、合唱
	開会のことば	国土緑化推進機構副理事長		ファンファーレ(吹奏楽：金管)
	三旗掲揚・国歌斉唱	みどりの少年団 日本ボーイスカウト鳥取連盟 ガールスカウト日本連盟 鳥取県連盟		吹奏楽、合唱
	主催者挨拶	大会会長、鳥取県知事		
	表彰(4団体) ○国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール ○緑化功労 ○全日本学校関係緑化コンクール ○ 鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰	大会会長 農林水産大臣 文部科学大臣 鳥取県知事 受賞者代表		弦楽
	苗木の贈呈			吹奏楽、合唱
	お手植え・お手播き 参加者代表記念植樹	御先導：国土緑化推進機構理事長、鳥取県知事 (介添え：)		吹奏楽、合唱
	大会テーマの表現 「はぐくみ」のメッセージ			吹奏楽 弦楽
	大会宣言	国土緑化推進機構理事長		ファンファーレ (吹奏楽：金管)
	リレーセレモニー ○大会シンボルの引き継ぎ ○新潟県知事のあいさつ	鳥取県知事 新潟県知事 介添え：		CD



時間	プログラム	登壇者・出演者	映像	音楽
～ 11:50	閉会のことば	鳥取県議会議長		ファンファーレ (吹奏楽:金管)
	天皇皇后両陛下 御退席	御先導:鳥取県知事 お見送り:大会会長、 国土緑化推進機構理事長		弦楽
	記念式典終了			
◆エピソード「はばたき」				
12:00 ～ 12:20	エピソード案内			
	エピソード演出 「はばたき」のメッセージ	みどりの少年団、出演者全員		
	おもてなし広場再開		インフォメーション文字等	

(2) 登壇者一覧

No.	登壇者名	登壇者場面等
1	大会会長(衆議院議長)	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②主催者あいさつ ③表彰(国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール) ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
2	国土緑化推進機構理事長	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ③大会宣言 ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
3	鳥取県知事	①感謝状の贈呈 ②東日本大震災復興支援 ③記念切手の贈呈 ④天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ⑤主催者あいさつ ⑥表彰(鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰) ⑦天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ⑧リレーセレモニー ⑨天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
4	農林水産大臣	①表彰(緑化功労) ②苗木の贈呈
5	文部科学大臣	○表彰(全日本学校関係緑化コンクール)
6	環境大臣	○苗木の贈呈
7	国土緑化推進機構副理事長	○開会のことば
8	新潟県知事	○リレーセレモニー・次期開催県知事あいさつ
9	鳥取県議会議長	○閉会のことば
10	受賞者	①国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者代表 ②緑化功労者代表 ③全日本学校関係緑化コンクール入賞校代表 ④鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰代表
11	感謝状受賞者	○感謝状の贈呈
12	郵便事業株式会社	○記念切手の贈呈
13	被災地代表者	○東日本大震災復興支援



(3) 出演者一覧

○県民参加による式典とするため、県内の小・中・高校生や、地元団体をはじめ県内で活躍している団体の積極的な協力と出演をしていただきます。

項目	人数	内容
司会進行		○県内放送局アナウンサー
式典アシスタント		○県内高校生
介添え・苗木の贈呈・三旗掲揚		○みどりの少年団 ・ ・ ・ ○日本ボーイスカウト鳥取連盟 ○ガールスカウト日本連盟鳥取県連盟
音楽隊(吹奏楽)		○鳥取県立米子東高等学校 ○鳥取県立米子西高等学校 ○鳥取県立米子南高等学校 ○鳥取県立米子高等学校 ○翔英学園米子北高等学校 ○南部町立法勝寺中学校 ○南部町立南部中学校 ○伯耆町立岸本中学校 ○伯耆町立溝口中学校 ○江府町立江府中学校
音楽隊(合唱隊)		○山陰少年少女合唱団リトルフェニックス ○シンフォニー少年少女合唱団 ○鳥取県立日野高等学校 ○翔英学園米子北斗中学・高等学校 ○米子永島学園米子松蔭高等学校 ○国立米子工業高等専門学校 ○コロネット・コール ○富有の里コーラス ○境港市民合唱団ハーフェンコール ○コール・凜-Ring-
音楽隊(オーケストラ)		○米子管弦楽団
創作劇音楽録音(オーケストラ)		○鳥取市交響楽団
アトラクション(創作劇)		
アトラクション(ダンスパフォーマンス)		



(4) 映像・音響システム

①映像

- 大型映像装置(317インチ)を配置し、記念式典やアトラクションの状況と映像(事前の活動など)を上映することで、参加者がどこにいても式典の状況を**視認できるように**します。
- 大型映像を使って、式典プログラムの構成や演出を効果的に表現します。

②音響

- 屋外であるという**会場の特性を考慮し、演出内容にふさわしい音響効果が得られるよう、適切な場所にスピーカーを配置します。
- 特別招待者席の**両**袖付近にメインスピーカーを設置するとともに、音ずれを防止するため、会場各所にサブスピーカーを設置します。
- 式典運営上の支障をきたさないために、実施本部・出演者控所エリアにも補助スピーカーを設置します。
- 集音マイクは風対策を施し、質の高い音を再現します。



6 式典演出準備スケジュール

年度		24年度											25年度					
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
全体								開催日決定	実施本部設置			実施計画承認						
演出関係	構成・演出	構成・演出内容の決定						式典台本の作成・修正						式典・総合・前日等リハーサル				
	式典演技	演技内容の決定				演技内容の具体化												
	式典音楽	楽曲検討・決定 楽譜作成・調達																
	映像ソフト	映像構成の検討・素材収集						ソフトの編集										
	映像・音響システム	使用機器・システム計画						システム設計書作成・調整										
出演者関係	式典アシスタント	アシスタントの決定						行動表の作成		基礎研修・行動練習		個別練習		習熟確認				
	介添え	介添え者の検討・決定						行動表の作成		基礎研修・行動練習		個別練習						
	音楽隊	出演団体の検討・決定						指導者打合せ		個別練習								
	演技指導	出演団体の検討・決定						指導者打合せ		個別練習								
資料関係	登壇者行動表							登壇者行動表の作成				調整						
	リハーサル計画							各リハーサル計画の作成				調整						
	マニュアル							各マニュアルの作成				調整						
		第64回全国植樹祭																